

事業所における自己評価結果				
事業所名	リトルボニークラブふくはら			
	公表日 令和7年3月28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	利用定員が介護支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	
	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間になっているか。	4	1	
	必要に応じて、子どもが個室の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	子ども自身が目標を決めて振り出して定期的に見れる環境を作っている。
	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容で業務改善につなげているか。	3	2	
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	事業所内で定期的な研修を設けており、外部への研修参加も積極的に取り組んでいます。
適切な支援の提供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2	
	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズと課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス画面を作成しているか。	5	0	
	放課後等デイサービス画面を作成する際には、児童青少年支援管理責任者がだけでなく、子どもの児童や保護者が共同判断の下で、子どもの権利を考慮した検討が行われているか。	4	1	
	放課後等デイサービス画面の職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	
	この子どもの行動の特徴を、標準化されたツールを用いてフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察とともにむしろインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	
関係機関や保護者との連携	放課後等デイサービス画面には、放課後等デイサービスイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「地域支援」及び「移行支援」、「地域連携」の本義と、及び支援内容を踏まえながら、子どもの状況に応じて必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	移行支援、地域支援などの部分ではまだ課題が多いと感じている。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	
	この子どもの状況に応じて、個別活動と班活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス画面を作成し、支援が行われているか。	3	2	児童によっては、個別活動を主として集団を中心とした活動が行われる。組み合わせが難しいと感じる面では、本人の意向を尊重している。
	支援開始前に保護者間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	児童の受け入れ時期によってはスタッフ同士がデジタル上での打ち合わせとなり、相互理解が行き届かない事があった。
保護者への説明等	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担を行い、気配りや点検を共にしていくか。	4	1	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	
	放課後等デイサービスイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合せて支援を行っているか。	2	3	
	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をできるを作成してための支援を行っているか。	5	0	
非常時等の対応	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	その子どもの状況をよく理解したスタッフが担当会議に出席していないことが多かった。次回からは理解したスタッフが対応していく。
	地域の保健、医療（主に医療・医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行なう体制を整えているか。	5	0	
	学校との情報共有（年間計画・行事・定期評定の交換、子どもの下校時刻の連絡等）、連絡会（送迎時刻対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	
	扶助前・扶助中に利用した教育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有・相談会議に努めているか。	1	4	
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	
事業所の運営	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要な時にアシスト（ハーバリズムや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	
	放課後等デイサービスの運営の流れや、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	5	
	（自立支援）協議会等へ積極的に参画しているか。	2	3	事業所内の自立支援協議会は行っているが、外部で行われている自立支援協議会には参加できていないが、参加していきたい。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎や運動活動の際にはその日の行った活動や気付いたことは伝えるようしている。
	家庭での応応の向に応じる点から、家庭に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トーナメント等）や家庭等の参加できる支援の機会を提供を行っているか。	1	4	
事業所の運営	運営規程、支援プログラム、利用者担当等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家庭の意向を尊重する機会を設けているか。	4	1	
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	3	
	実施等から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言に支援を行っているか。	3	2	
	父母の会の活動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けているか。また、保護者同士の交流を促進する機会を設けているか。	3	2	兄弟がきたときは一緒に馬に触れ合うことがあるが、保護者同士で交流する機会はまだ少ない。今後はイベントなどを多く持ち、保護者同士の交流の場を設けたいと考えている。
事業所の運営	子どもや保護者からの要望について、対応の体制を整備することも、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	
	定期的に通報会を行なうか、HPやSNS等を活用することにより、活動報告や行方不明、連絡体制の確認等をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	3	
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	
	障害のある子どもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	
	事業所が行なう地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	1	4	地域住民を招待するなどはまだできていない。地域の方との交流を持っていきたいと考えている。
事業所の運営	事務的マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を整備し、職員や保護者等に周知するとともに、児童生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	
	業務継続計画（BCP）を策定したこととともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練その他の必要な訓練を行なっているか。	5	0	
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2	3	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指導に基づく対応がされているか。	3	2	
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された上で支援が行われているか。	4	1	
事業所の運営	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が認められるよう、安全計画に基づく連携の内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	4	1	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	
	どのような場合に子どもや保護者を育むかについて、組織的に対応し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	馬を放つ上で子どもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童などにさしはむを育す身体検査をすると同意を得て計画書に記載をしている。